

保護者のみなさまへ

児発・放デイの 選び方

ROOTS

児発・放デイの運営ソフト | 株式会社INU
rootshub.jp



児発と放デイは、通う時期が違います

どちらも、お子さんの発達や生活を支える通所サービスです。

くらべること	児発(児童発達支援)	放デイ(放課後等デイサービス)
主な対象	小学校に入る前のお子さん	小学生から高校生までのお子さん
主な時間	平日の日中など	放課後や学校の休みの日
活動の例	遊びや運動、ことば、人との関わり	学びや運動、人との関わり、生活の練習

名前だけで決めず、活動の内容や時間、送迎などが今の生活に合うかを確認めます。

職員・活動・安全の3つを見ます

説明だけでなく、実際の様子とお子さんの反応も見てください。

職員の関わり方

声のかけ方を見る

お子さんの目線で話しているか、いやがる時に気持ちを受け止めているかを見ます。

活動の様子

何を、なぜするかを見る

一日の流れ、個別と集団の時間、お子さんが参加しやすい工夫を見ます。

安全

事故を防ぐ工夫を見る

室内の整理、避難経路、送迎、けがや体調不良の時の連絡方法を確認します。

一回の見学だけで決めなくても大丈夫です。同じ観点でいくつか見学すると、違いを整理しやすくなります。

見学では、6つの質問をしてみましょう

一日の流れ

どんな順番で過ごしますか？

活動、休けい、食事、送迎の時間を聞きます。

関わり方

活動をいやがる時はどうしますか？

無理なく参加できるようにする工夫を聞きます。

支援の計画

目標はどう決め、見直しますか？

保護者と話す機会や、振り返りの方法を聞きます。

日々の連絡

その日の様子はどう分かりますか？

連絡帳、写真、送迎時の説明などを聞きます。

安全

けがや災害の時はどう連絡しますか？

緊急時の連絡と避難、送迎の決まりを聞きます。

通い方

空き、曜日、送迎、費用は？

家庭の予定と合わせられるかを確認めます。

個別支援計画は、施設が作る「支援の設計図」です

お子さんの今の様子と、保護者の希望をもとに、支援の目標と方法をまとめます。

話を聞く

得意なこと、困っていること、家庭の希望を確認



計画を作る

目標と、施設で行う支援を文章にする



一緒に確認

内容の説明を受け、分からない言葉は質問する



振り返る

様子の変化を見て、目標や方法を見直す

「何をめざすか」「どんな支援をするか」を、家庭と施設で同じ言葉にするための計画です。

複数の施設を組み合わせる通い方もあります

一つに決める方法も、組み合わせる方法もあります。お子さんの負担と生活の続けやすさで考えます。

組み合わせる時に考えること

- それぞれで何を大切にしたいか
- 曜日と送迎を無理なく組めるか
- お子さんに休む時間があるか

先に確かめること

- 受給者証の利用できる日数
- 施設どうして情報を共有する方法
- 予定が変わる時の連絡先

複数施設の日数は合計して考えます。利用できる日数は受給者証を確認し、分からない時は市区町村や相談支援の担当者へ相談してください。

見学から利用開始まで、順番に確認します

1 | 問い合わせる

空き、見学できる日、送迎できる場所を聞きます。

2 | 見学・体験をする

職員、活動、安全の3つの観点で確かめます。

3 | 受給者証を確認する

手続き中なら、施設と市区町村に今後の流れを聞きます。

4 | 契約内容を読む

利用日、費用、欠席、送迎、連絡、退所の決まりを確認します。

5 | 計画を確認して始める

個別支援計画の説明を受け、通い方を決めます。

手続きの順番や必要な書類は地域や施設で違うことがあります。契約前に、市区町村と施設の説明を確認してください。

「合うか」を、同じ観点で確かめましょう

施設の優劣ではなく、お子さんと家庭が安心して続けられるかを考えます。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ☐ 関わり方 | お子さんの気持ちを受け止める関わりか |
| ☐ 活動 | 目標と一日の流れを分かりやすく説明してもらえるか |
| ☐ 安全 | 緊急時、送迎、連絡の決まりを確認できたか |
| ☐ 計画 | 家庭の希望を話し、支援の目標を一緒に確認できるか |
| ☐ 通いやすさ | 曜日、送迎、利用日数を無理なく続けられるか |

迷った時は、質問をメモしてもう一度見学したり、市区町村や相談支援の担当者へ相談したりできます。株式会社INU (ROOTS運営) は行政機関ではありません。